

国名	フランス共和国 (French Republic)	
主要な言語	フランス語	
人口学的データ ¹⁾	総人口 (人)	6837万
	15歳未満人口割合 (%)	17.3
	65歳以上人口割合 (%)	17.9
	平均寿命 (歳)	82.5
	5歳未満児死亡率 (出生千対)	3
	妊産婦死亡率 (出生10万対)	4.4
	中等教育就学率 (%)	男性 103
主要な死因 ²⁾	1位 悪性新生物	
主要な民族 ²⁾	ケルト人、ゲルマン民族 (フランク系、ノルマン系)	
主要な宗教 ²⁾	カトリック約80%、イスラム約7%、プロテスタント約1.5%	
日本在留外国人 (%) ³⁾	15,153人 (2023年)	
文化社会的特徴		
1. 特徴的な価値観・行動・生活習慣	「自律することが大人である」という価値観で、自分のことは自身で決める傾向が強い。そのため、看護側は提供できるものを提示し、選ぶのは対象者であるということ認識しておく必要があり、相手の価値観を尊重することが重要である ⁴⁾ 。労働が週35時間、就労日数も定められ超過すると高額の間外給与を雇用主は払わなくてはならず、就労時間や有給休暇が遵守される。そのため、決められた時間がくると素早く帰宅する。サービス残業は罰金が課せられる ⁵⁾ 。権利主義であり、権利を主張する傾向が強いため、コミュニケーションでは相手側の権利について考えながら話す事は重要である。一方、自身も主張しなければ意見がないとみなされる。	
2. 重要な意思決定にあたって留意すること	意思決定は本人が行う ⁴⁾ 。未成年も中絶など自分の体のことは自分で決められ、親権者の同意を必要とせず、親に内緒で中絶ができる。これは公衆衛生法で定められている ⁶⁾ 。	
3. 食文化	主食はパン。共働きが多く、食事は簡素である。保育園から大学院まで食堂で食べるため弁当文化がない ⁷⁾ 。病気の時には野菜スープやハーブティーを飲む。	
4. 衛生に関する価値観	コロナ禍の時にマスク反対運動が大きかった。Evidenceのない行動規制や、法律に記載のない指示に対する抵抗が大きい。毎日沐浴するよりはニーズに応じて洗うなど自己免疫を保つことを優先する。	
5. 受療および病人のケアに関する価値観・行動	成人は、健康診断の習慣がない ⁸⁾ 。受診は本人の意志で行う。未成年に関しては親権者が医療を受けさせない場合、子ども専門裁判官が子どもの権利を守るために医療、ケア、支援等を命令する ⁹⁾ 。学校の健康診断は心理面学習面も確認し、解決まで学校の医療チームがフォローする義務がある。未成年も自分の意志で行ける無料のクリニック (病院) があり ¹⁰⁾ 、親が同伴する必要はなく、心理ケアへのアクセスができるように工夫されている。医療職者との関係性は対等であり、選択権は患者にある。医療従事者は多職種連携が強い。	

6. 妊娠・出産に関する価値観・行動	<p>「避妊をする、中絶をする、育てない」という選択をする権利が女性にある¹¹⁾。中絶はパートナーの同意の必要はなく、薬による中絶も選べ、全て無料である。妊婦健診や出産費用も無料¹²⁾。分娩は9割が無料で受けられる無痛分娩で出産する。出産時に痛みを耐えて体力を消耗するよりも、出産後の育児のために体力を残しておくという考え方である。妊娠初期に心理面社会面も含めサポートが必要ないか全ての妊婦に対しチェックすることが義務付けられている¹³⁾。必要であれば自宅近くの開業助産師が訪問するが、訪問してもらう助産師は自分で選べる。必要時にはエジュケーターという国家資格を持った子ども支援者が訪問に行く。</p> <p>不妊治療は無料となっている。中絶は死刑であった過去があり、女性の体の決定権には強い主張が見られる。アメリカの連邦最高裁判所が「中絶は憲法で認められた女性の権利」とする49年前の判断を覆したことを受け、フランスでは女性の権利を守る活動が高まった。その結果、2024年に人工妊娠中絶の自由が憲法に明記された。中絶の権利が憲法に明記されるのは世界初である¹⁴⁾。</p> <p>保健センターの下部組織として性に関する相談ができる性的健康センターがあり（一部民間委託）¹⁵⁾、婦人科健診、避妊の処方、中絶を無料で受けられる。緊急避妊薬は薬局でも配布されている¹⁶⁾。匿名出産ができる¹⁷⁾。</p>
7. 育児に関する価値観・行動	<p>共働きが一般的であり、週35時間の労働が徹底されているため、男性が育児・家事をすることは一般的⁵⁾。6歳までは国がベビーシッターや預かりの費用の半額を負担する。中学からは返済不要の奨学金が収入に応じて受けられ、専門学校、大学、大学院の学費は基本的に無料。</p>
8. 高齢者に関する価値観・行動	<p>子どもに世話をしてもらい習慣はなく、自宅入院など、自宅に医療や看護者が通う選択ができる。ほとんどが施設入所であるが、パリ市内は高額で綺麗な施設はなく、郊外の施設に入所する場合も多い。</p>
9. 終末期・葬儀に関する価値観・行動	<p>1999年に「緩和ケア権利法」が施行され、患者自身が終末期医療の自己決定する権利を保証した。2005年には「レオネッティ法」が制定され、人工的な延命治療の中止が定められた。2016年には「終末期にある者のための新しい権利を創設する法律」が施行され、尊厳ある死を保証した¹⁸⁾。2024年には「死への積極的援助」法案が発表され、条件は設定されているが致死量までの薬の投与は認められる方向で進んでいる。</p> <p>埋葬は土葬が習慣であったが火葬が増えてきている。</p>
10. 本国の医療職・医療サービスに関する特徴	<p>病院は公立が大半である。日常的には開業医もしくは医者SOS¹⁹⁾というネットワークに参加する医師が自宅診療する方法を利用する。</p>
11. その他の保健医療に関する特徴	<p>癌や糖尿病などに罹患した場合、医療費は無料となる。これらの罹患者が多く1300万人が対象になっている。がんやうつなどの治療のため一般的な就労ができない場合、傷病手当の対象となる²⁰⁾。</p>
12. 教育制度	<p>3歳から義務教育。 幼稚学校：3年 小学校：5年 中学校：4年(前期中等教育:コレージュ) 高等学校：3年(後期中等教育:リセ) 大学：3年</p>
13. その他の特徴	<p>移民が人口の10.7%となっている。</p>

14. 出典

- 1) Institut national de la statistique et des études économiques.
<https://www.insee.fr/fr/accueil>
- 2) Publique Française, <https://drees.solidarites-sante.gouv.fr/>
- 3) Publique Française, Durée du travail d'un salarié à temps plein, 2023.
<https://www.service-public.fr/particuliers/vosdroits/F1911>
- 4) Publique Française, LOI n° 2002-303 du 4 mars 2002 relative aux droits des malades et à la qualité du système de santé (1).
<https://www.legifrance.gouv.fr/jorf/id/JORFTEXT000000227015/>
- 5) Gouvernement : Heures supplémentaires d'un salarié du secteur privé.
<https://www.service-public.fr/particuliers/vosdroits/F2391>
- 6) Gouvernement , Le site officiel sur l'IVG. <https://ivg.gouv.fr/acceder-a-ivg>
- 7) Ministère De L' éducation Nationale, Education.
<https://www.education.gouv.fr/la-restauration-scolaire-6254>
- 8) Publique Française, Code de la santé publique. R2132-1,
https://www.legifrance.gouv.fr/codes/section_lc/LEGITEXT000006072665/LEGISCTA000006178541/#LEGISCTA000006178541
- 9) Publique Française, ReplierTitre IV : La santé scolaire (Articles L541-1 à L543-1)L541-1.
https://www.legifrance.gouv.fr/codes/article_lc/LEGIARTI000042656190
- 10) Publique Française, Décret n° 2017-813 du 5 mai 2017 relatif aux expérimentations visant à organiser la prise en charge de la souffrance psychique des jeunes.
<https://www.legifrance.gouv.fr/jorf/id/JORFTEXT000034602624>
- 11) Publique Française, Code de la santé publique.
<https://www.legifrance.gouv.fr/codes/id/LEGISCTA000006171378>
- 12) Allocations familiales, Frais d'accouchement : ce qu'il faut savoir.
<https://caf.fr/allocataires/vies-de-famille/articles/frais-d-accouchement-ce-qu-il-faut-savoir>

- 13) Publique Française : Loi constitutionnelle du 8 mars 2024 relative à la liberté de recourir à l'interruption volontaire de grossesse.
<https://www.vie-publique.fr/loi/292357-liberte-recours-ivg-dans-la-constitution-avortement-loi-du-8-mars-2024>
- 14) Ministère du travail, de la santé, des solidarités et des Familles., L'entretien prénatal précoce. <https://sante.gouv.fr/prevention-en-sante/sante-des-populations/1000jours/EPP>
- 15) Ministère du travail, de la santé, des solidarités et des Familles.
<https://sante.gouv.fr/prevention-en-sante/preserver-sa-sante/sante-sexuelle-et-reproductive/article/sante-sexuelle>
- 16) L' Assurance Maladie. Contraception d'urgence hormonale gratuite.
<https://www.ameli.fr/assure/sante/themes/contraception-urgence/contraception-urgence-gratuite>
- 17) Publique Française, Accouchement sous X. <https://www.service-public.fr/particuliers/vosdroits/F3136>
- 18) Publique Française, LOI n° 2016-87 du 2 février 2016 créant de nouveaux droits en faveur des malades et des personnes en fin de vie (1).
<https://www.legifrance.gouv.fr/jorf/id/JORFTEXT000031970253>
- 19) SOS MEDECINS. <https://sosmedecins-france.fr/sos-medecins/la-permanence-de-soins-en-france/>
- 20) République Française. Prise en charge d'une affection de longue durée (ALD) par l' Assurance maladie. <https://www.service-public.fr/particuliers/vosdroits/F34068>

担当者：日吉和子（太成学院大学）

承認日：2025年2月19日